

『「当別 22 世紀の森」づくり、記録誌の作成』報告

NPO法人 新山川草木を育てる集い

NPO法人 新山川草木を育てる集いでは、2003 年から当別町青山中央にある 11ha（当別川河川敷地）を対象に、「どろ亀さん記念・当別 22 世紀の森」づくりとして、樹種の多様化と早期成林基盤の確立を目指した森林の造成を続けています。

一般や友誼団体などからの参加者協力も得ながら 1 年に 1 ha ずつ植栽していき、2012 年でおおよその樹木植栽が終了、2017 年度としている第 1 段階の保育活動も終盤に至ったことから、これまでの活動内容を「記録誌」として発行する運びとなりました。

貴財団の助成が得られたことから、2015 年度から「記録誌」作成を本格化させ、夏季にはフィールド調査（継続試験地の追跡調査・追加調査）や写真撮影などによる資料の収集と、紙面内容・構成・写真・データなどの検討、制作を進めました。

「記録誌」は、「当別 22 世紀の森」および近隣地域、北海道における森づくり活動への貢献を目指していることから、森づくりの経過の詳細や技術的成果などの記載に重点をおいた内容としており、その内容は、以下の通りです。

『どろ亀さん記念・当別 22 世紀の森

活動の経緯と成果 ー多雪地水田跡での広葉樹植林ー』

I 森づくり活動の経過

どろ亀さんの遺言・試行錯誤の繰り返し・多くの協力者を得て・
より良い方策を求めて・作業の効率化、省力化の検討

II 環境と森づくり活動の成果

自然環境・技術的成果・植栽木の生育状況・苗木の山出し適期・大苗植栽木の生存状況・雪害対策に間伐材丸太の利用・雪害対策としての整枝・ネズミの好き嫌い・ネズミ植栽木のゆくえ・ネズミ被害木からの萌芽を生かす・環境影響を考慮したネズミ対策

現地は河川氾濫原の水田跡地(湿地)であることや、最大積雪深が 3 m にもおよぶ多雪地・動物食害の多発地での試みであることから、この記録誌が地域や北海道などにおける森づくり活動の一助になることを願っています。

なお、この記録誌をご希望の方がいらっしゃいましたら無料で進呈いたしますので、e メール shinsansen@gmail.com または F A X / 0 1 1 ・ 8 2 5 ・ 4 0 7 7 までご連絡ください。

最後になりましたが、ご助成くださった一般財団法人 前田一步園財団さまに御礼と感謝を申し上げます。

